

平成 21 年 8 月 吉日

神奈川県中学校体育連盟会長 様

神奈川県中学校テニス連盟
理事長 鈴木 三朗(桐光学園)

中学校体育連盟加盟申請書

1 昨年度までの経緯とこれからの取り組みと現状

昨年度、神奈川県中学校テニス連盟として硬式テニスの中体連加盟を申請しました。次年度から中体連加盟の基準作りを開始するという返答をいただきました。

それを受けて、県中学校テニス連盟では、ブロックごとに組織づくりに着手し、各地区の代表者をお願いしました。平成 20 年に常任委員の改選が行われるのを機会に、その 8 地区の代表者に中学校テニス連盟の常任委員として推薦しています。代表者の学校に委嘱するための書類を送っています。

大会の運営に関しては、県大会（個人戦、団体戦）、新人大会（個人戦、団体戦）を実施しています。県レベルの大会に関しては問題は少なくなっていると思います。ただし、ブロックごとの大会に関して検討を重ねていく必要があると思っています。加盟校は毎年増加傾向にあります。加盟校の中には個人戦のみ参加の中学校もありますが、部活動を行っている中学校が確実に増えています。そこで中学校テニス連盟としては、地区を活性化するために予算を出すことを考えています。

2 加盟理由

テニス部を持つ中学校が増加傾向にあるので、今までは私立中学校のテニスコートを使用していて大会を実施していますが、参加人数が増加し大会会場を確保することが難しくなってきました。できるだけ公営テニスコートを確保して短い日数で終了できるようにしたいと思います。

テニス部に所属する中学校に対する経済的な負担を軽減するためです。具体的には、会場校が分散していると、会場への交通費は生徒の負担となります。また運営費に関しては、生徒から集めている部費から出しています。それらの費用を軽減したいと思います。

3 生徒の状況について

昨年度、県中学校テニス連盟の総会で、できるだけ早い時期に加盟できるように、公立中学校の顧問中心に準備委員会を発足しています。今年度は早速地区の代表者は決まり、地区の立ち上げに動いています。地区に活動費の予算をだし、地区内での学校同士の交流を盛んにしようと考えています。

横浜市内では中区、栄区など区大会を実施しています。少しずつ大会実績を積み上げています。また、大会運営を準備委員会のメンバーを中心に行い、中体連に加盟して大会運営を任されてもスムーズにできるように、実績を積んでいます。

神奈川県テニス連盟
副理事長・中体連加盟対策委員
子安 義和（岡村中学校）